

宮城県宗務所報

発行所

曹洞宗宮城県宗務所

仙台市泉区市名坂字檜町169-4

TEL 022(218)3801

FAX 022(218)3803

e-mail:sotou-miyagi@road.ocn.ne.jp

発行者 所長 伊藤守弘



(虚空藏山 大満寺)

瑞気天に昂り、東風万戸に充つる新春の時節、管内ご寺院の諸老宗師様各位におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和四年十二月前宗務所長三田村道雄老師の任期満了に伴い、宮城県有道会様、總和会宮城県支部様のご推薦、また県内ご寺院様方のご支援により本職を拝命致しましたが、甚だ浅学非才ゆえ身に余る大任であり、その重さを緊と感じているところであります。再任、新任となった役員共々何卒宜しくお願い申し上げます。

本年は東日本大震災から十二年、十三回忌を迎えますが、お心の痛みはまだまだ癒えるものではないと存じます。また、令和元年に発生した台風十九号にて被災されたご寺院様また檀信徒の皆様方にも、一刻も早い復興を祈念致しますと共に、併せて犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

さて、宮城県宗務所規則第四条の宗務所の目的には、「曹洞宗の教義をひろめ、儀式行事を行い、信者を教化育成し、曹洞宗宗制に規定する地方における宗務の処理及びその他その目的を達成するための業務を行う」とあります。就任に当たって第一に考えますことは、円滑なる宗務行政を推進するには、宗務庁と各教区長老師と縦横に信頼関係を構築するこ



ご挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長

伊藤守弘

とが不可欠でありますので、引き続き丁寧な対応と事務処理の迅速化を図りたいと思います。

また、主催する事業については、四年目となるコロナ禍に在って中止や縮小そして延期が続きました。しかし、昨今は認知レベルが向上し、感染対策も日常の常識となり、ウィズコロナ・アフターコロナを念頭に置きつつ、適切に展開してまいりたいと思います。

特に令和六年の「太祖瑩山禪師七〇〇回大遠忌」法要に向けて、本年六月の東北管区集会秋田大会では大遠忌予修法要が修行されるなど、円成に向けての事業が粛々と進められます。必要に応じて協力体制を整えてまいります。また、自然災害への対応、SDGs、人権、後継者、過疎化、現職研修、青少年教化、梅花講、所内営繕修理等、更には、信者の教化育成の場としての檀信徒集会の再開も必要と思われれます。

この様に課題や問題は山積しておりますが、教区長老師各位及関係諸団体と鋭意検討を重ねながら、事業の点検や見直し等も視野に入れ、具現化のために慎重に努力してまいります。管内ご寺院様におかれましては、諸般にわたり旧に倍して御支援ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

令和四年度 護持会研修 （地方研修旅行）に参加して



宮城県宗務所護持会 会長 佐藤 出
第四教区法常寺 檀信徒代表

今年も新型コロナウイルス感染の影響で、本山永平寺研修を変更し、山形県鶴岡市善寶寺日帰り研修となりました。

十月一日秋晴れのなか、稲刈りも七〇八割終え遠くの下々にはうっすらと雪化粧した姿をみながら庄内平野を一路善寶寺へ。

参加者二十一名、宗務所から白石副所長様他二名計二十四名がコロナ感染対策としてバス二台に分乗しての研修です。

善寶寺は開山は平安時代にまで遡ります。曹洞宗二大祈禱場のひとつであり、龍神を祀る古

れている金毘羅宮が西を代表する海の神様で、善寶寺は東を代表する海の神様と言われております。

また善寶寺は、坐禅修行や精進料理を味わうこともでき、昼食は美味しい精進料理をいただきました。本堂で先祖供養・家内安全・身体堅固交通安全の法要があり、その後諸堂拝観をし、帰路にきました。

今私たちは、およそ一〇〇年ぶりに世界を襲ったパンデミック、経済と地球の生態系バランスの崩れ、そしてロシアのウクライナ侵攻や各地域での紛争など出口の見えない暗くて長いトンネルに入っています。

曹洞宗管長石附周行猥下は告諭において混迷した社会に於いてどのような生き方を目指したら良いのかを私たちに諭されました。心に伝わったお言葉をここに記したいと思えます。

「今私たちは多くの困難と不安に直面し、その生き方が問われています。」

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、多くの尊い生命が失われ人々は深い混迷のなかにいます。

国際紛争や内戦・貧困・差別・格差・いじめ・命をうばう事件などの社会問題、近年頻発する自然災害・地球環境の変動などは私たちに生存の危機をもたらしています。

そんななか私たちはどのような生き方を目指せば良いのでしょうか。

お釈迦さまは智慧と慈悲をもって生きることを示されました。

智慧とは万物に生かされている生命の真理に気づく力です。今回の研修では各寺院の役員の方々との交流もでき、実のある研修であったと思えます。

刹です。三大祈禱場はこの善寶寺の他に神奈川県南足柄市の最乗寺、愛知県豊川市の妙厳寺（豊川稲荷）です。六五、〇〇〇坪に及ぶ境内には五重塔をはじめとする登録有形文化財が数多くあり、他に獅子や鳳凰などの彫刻も繊細で見事です。

龍神信仰の寺として、航海安全や大漁を祈願する漁業関係者などが北海道から静岡県・鳥取県まで広範囲に亘って信仰を集めています。古くから「こんぴらさん」として親しま

歴史を旅する、心の寶さがし。たから

観る

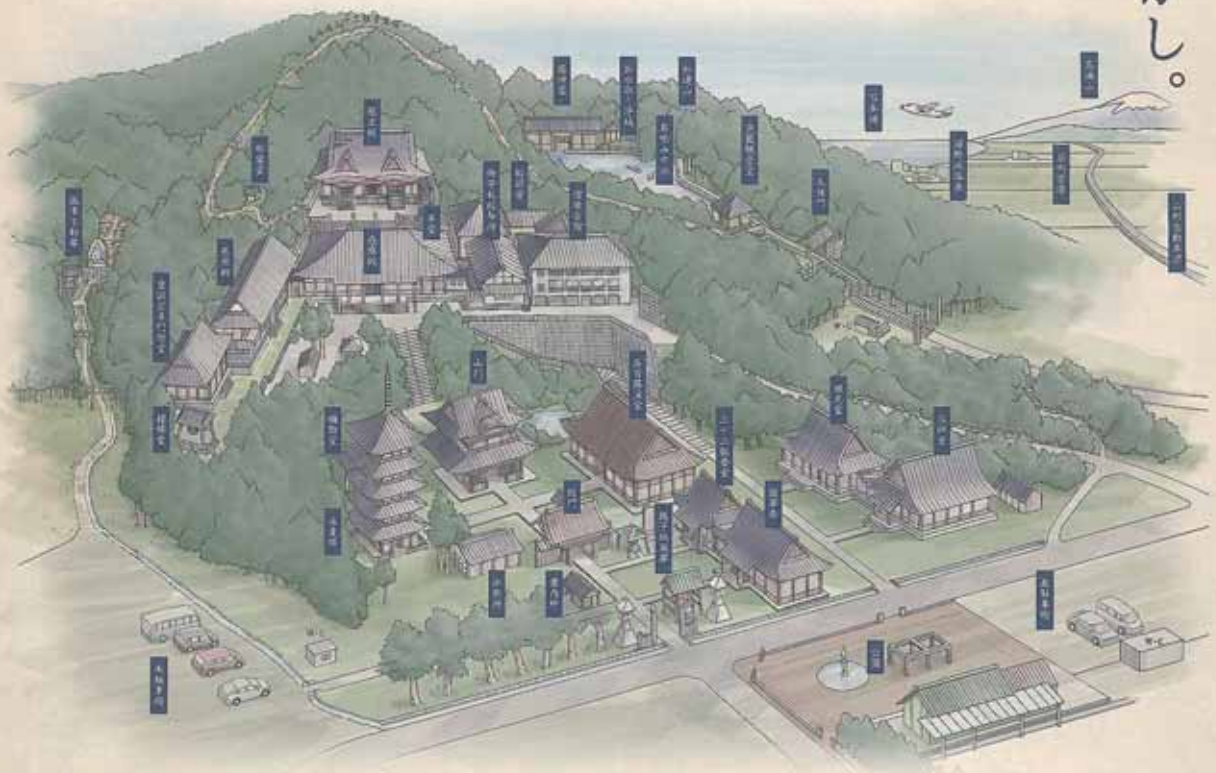
美しい里山や人面魚の池に恵まれる自然豊かな六万坪の景観。国の登録有形文化財を含む圧巻の堂塔伽藍。技を極めた棟梁達に繊細に彫り込まれた彫刻は京都の建築彫刻にも引けを取りません。ゆったりと境内を散策してみると、心が整えられてくるようです。

知る

二体の龍神伝説に始まる一一〇〇年以上にわたる悠遠なる信仰の歴史。北前船・北海道漁業の開拓など厳しくも華やかな時代と荒波に生きた人々の「心の港」。龍神伝説と歴史の織り重なる信仰の場所。知れば知るほど想いつながら、心静かに手を合わせたくなってきます。

祈る

遠く室町時代より今も不断に続く祈りの行。日に六度、六百巻の大般若経を僧侶達が一齐に転読します。祈祷とは、願いを神仏にゆだね、お任せすること。願いは祈りへと、祈りは誓いとなり、迷わず生きる力となります。生活の中に神仏とのご縁を、ひとときの祈りを。



- 高速道路 鶴岡ICより 車15分
- 湯野浜温泉より 車10分
- 加茂水族館より 車15分
- 庄内空港より 車15分
- JR羽前大山駅より 車15分
- JR鶴岡駅より 車25分
- 庄内交通バス
善寶寺経由湯野浜温泉行き 35分

龍神様の祈拝道場
龍澤山 善寶寺
 りゅうたくさん ぜんぼうじ
 お問い合わせ
 〒997-1117 山形県鶴岡市下川字関根100
 TEL 0235-33-3303 (代)
www.zenpouji.jp

宗務所新役員紹介

(副所長兼人権主事)



第二教区
壽徳寺住職
熊谷 晴生

今般、副所長兼人権主事を拝命いたしました。何分にも浅学非才の身であります。伊藤所長の下、風通しの良い職場を心掛け、県内ご寺院様のご指導を賜りながら誠心誠意業務に邁進して参ります。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

(教化主事)



第四教区
東禪寺住職
三宅 俊乗

この度、教化主事を拝命いたしました。もとより浅学非才ではございますが、お引き受けした以上は精一杯務めさせて頂く所存でございます。齢、還暦を越えた私ではございますが、一回り以上も若い宗務所職員の皆様に刺激を頂きながら、早く職務に慣れようと日夜精進してお

ります。県内のご寺院様方、寺族の皆様、さらに宗門護持会の皆様には、ご指導ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

(庶務主事)



第五教区
保昌寺住職
水澤 智孝

この度庶務主事を拝命いたしました。もとより浅学非才に加えて経験に乏しいところではございますが、県内ご寺院様、関係各位のご協力を賜りながら職務遂行の為全力で務めて参りますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

(梅花主事)



第四教区
慶雲院住職
清水 大伸

引き続き梅花主事を拝命いたしました。前期はコロナ禍のため止む無く事業を中止、縮小してきましたが、今期はウィズコ

ロナの中、皆さまのご意見を賜りながら事業を企画して参ります。四年間、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(書記)



第十九教区
普門寺副住職
坂野 太俊

引き続き、三期目を務めさせて頂くことになりました。宗務業務に貢献できるよう尚一層精進して参ります。

第十教区



興安寺住職
熊本 淳法

引き続き書記を務めさせて頂きます。スムーズな宗務行政の為、微力ながら精進して参りたいと思ひます。

第七教区



善盛寺住職
根來 浩之

この度、引き続き書記を拝命いたしました。二期目となりま

すが初心を忘れずに職務遂行が出来ますよう精進して参ります。

第二十一教区



活牛寺住職
菅原 一芳

この度、書記の任を拝命いたしました。少しでも早く宗務行政のお役に立てるよう精進して参ります。



宗 教 法 人 連 絡 協 議 会

県内には二〇〇〇を超える教宗派で組織されている宗教法人連絡協議会（以下、宗法連）が組織され、現在（R四―R五年度）代表は曹洞宗が担っている。

コロナ禍で研修会や旅行が中止され、会報「みやぎ宗連報」の発行のみとなっていた。令和四年度の会員研修旅行は「被災地のクリシタンと東北―二〇〇〇年の宗教」をテーマに一泊二日で開催された。

令和五年度には宗法連設立五十年を迎える。これまで十年毎に盛大な式典が開催されてきたが、コロナ感染拡大の動向を見ながら研修会をメインに計画が進められている。

神道・教会・仏教寺院が所属するこの団体は混迷を深める現代において共通の行動も求められているのではないかと国内のみならず世界に向

けても発信出来ることはないか模索している。

今後は立正佼成会↓神社庁の輪番となるが、五十年の節目に当たり代表として任務を果たしたい。



岩手県一関市 時宗 長徳寺

宮 城 県 宗 教 法 人 連 絡 協 議 会 役 員 名 簿

代表者会

令和 4 年 12 月 15 日 現在

郵便番号	所在地	所属名	氏名	TEL	FAX	役職	備考
981-3117	仙台市泉区市名坂榎町169-4	曹洞宗宮城県宗務所	伊藤 守 弘	218-3801	218-3803	会 長	
980-0002	仙台市青葉区福沢町8-18	立正佼成会 仙台教会	近藤 雅 則	213-5055	213-6077	副会長	
980-0014	仙台市青葉区本町1-9-8	宮城県神社庁	鍵 三 夫	222-6663	268-2939	副会長	
989-2421	岩沼市下野郷字江口68	真言宗智山派 宮城教区宗務所	佐藤 雅 晴	0223-24-4616	0223-23-4520		
984-0825	仙台市若林区古城1-4-1 泉教会	世界心道教	品川 眞 章	286-6444	285-5444	常任幹事	
984-0051	仙台市若林区新寺3-12-17 愚鈍院	浄土宗宮城教区 教務所	中村 瑞 貴	256-6057	299-3555		
985-0053	塩釜市南町11-2 慈雲寺	臨済宗妙心寺派宮城・福島教区宗務所	工藤 速 雄	364-3030	366-2577	監 事	広報担当
989-0237	白石市字中町53 専念寺	浄土真宗本願寺派 宮城組事務所	徳力 祐 弘	0224-26-3367	0224-26-3339	監 事	
983-0803	仙台市宮城野区小田原1-2-16	真宗大谷派仙台教務所	寺田 正 寛	297-2824	297-2827		
985-0072	塩竈市小松崎4-21 顕妙寺	日蓮宗宮城県宗務所	日野 教 恵	362-7600	362-7608	常任幹事	
986-0861	石巻市蛇田字上中坪84 東雲寺	天台宗	山田 清 隆	0225-22-1548	0225-23-2663	常任幹事	法人研修 担当
980-0014	仙台市青葉区本町1-2-12	カトリック仙台司教区	小松 史 朗	222-7371	222-7378		
980-0011	仙台市青葉区上杉1-15-31	日本基督教団東北教区 仙台ホサナ教会	長尾 厚 志	222-0998	222-0996		
989-2201	亶理郡山元町山寺字作田山33-1 東光寺	時宗	伊藤 卓 音	0223-37-0093	0223-37-0093		
989-2351	亶理郡亶理町上町 2 番地 法道院内	天台寺門宗 宮城県宗務支所	陰山 俊 明	0223-34-1770	0223-34-1298		
980-0021	仙台市青葉区中央3-4-20	仙台ハリストス正教会	辻 永 昇	225-2744	224-3080		
984-0042	仙台市若林区大和町2-13-10	天理教宮城教区長	加藤 元 一郎	232-6786	232-6785		
983-0822	仙台市宮城野区燕沢東2-1-53 善修寺	日蓮正宗宮城布教区	岩切 耐 道	251-6008	251-6267		
981-1222	名取市上余田字市坪82	仏単連	佐山 泰 法	382-3311	382-3311		
982-0845	仙台市太白区門前町3-22 大年寺	黄檗宗第25教区乙	武内 邦 生	249-6255			

四年をふりかえり



糟川寺 三田村 道雄

寒気日増しにつのり、冷え込みの激しい時節を迎えました。管内ご寺院様におかれましては、益々ご清栄のこととお察し申し上げます。

平成三十年十二月より宮城県宗務所をお預かりして四年の歳月が流れました。昨年十二月九日を以って終了し、次期所長老師に業務を引き継ぎ、無事任期を終了いたしました。四年間、誠にありがとうございました。

今振り返ってみますと、就任した当時は、多くの公約を掲げ、職員一丸となって船出を致しました。ところが、一年目には令和元年東日本台風による災害が発生。多くのご寺院様・檀信徒の皆様が罹災され、本庁との災害関係等の事務に追われまして。二年目に入り、「コロナ感染症」により、ほとんどの行持が開催でき

ませんでした。しかし、その状況下

にあっても、行持開催に向けて試行錯誤しつつ現在に於いては、各専門委員会の開催はもとより、現職研修会・徒弟研修会、更には護持会研修会、梅花関係においては、師範会のご協力のもと検定会を実施することができるようになりました。行政の立場としては、教化活動を休めることなく、コロナ禍を鑑み、職員と検討しつつ、教化活動の推進に努めてまいりました。

いつまでコロナ感染症と向き合えばよいのかわかりませんが、各寺院様には、感染予防対策に努め、以前の如く恒期法要等が出来ますようにご祈念申し上げます

結びに、管内の皆さまのお力添えに深く感謝を申し上げます。四年間のお礼の挨拶とさせていただきます。

合掌

宗務所行事四年間を振り返って！

現職研修会

平成三十一年二月十二〜十三日

曹洞宗総合研究センター所員(総研)

講師 小杉 瑞穂 老師

「仏祖正伝菩薩戒を学ぶ」

講師 東北福祉大学

木村 尚徳 老師

「『禅語を読む』発刊に当たって」

講師 県人権委員連合会

神 春美 氏

「ハラスメントについて」

令和元年七月五日

於 第一教区龍澤寺

講師 特派布教師

三部 義道 老師

「僧職のプロとして」

講師 丸山 劫外 老師

「仏遺教経に学ぶ」

講師 阿部 一雄 氏

「車いすの建築士が語る」

障がい者の心を知ろう」

令和二年二月十二〜十三日

於 ホテルニュー水戸屋

講師 総研所員

宇野 全智 老師

「仏祖正伝菩薩戒の歴史に学ぶ」

「SGDsを学ぶ」

人権学習 古箏演奏家

伍 芳 氏



伍 芳 氏

令和三年七月七日（Zoom配信）

講師 特派布教師

佐野俊也 老師

「管長告諭と

布教化方針について・

コロナ禍の布教」



佐野俊也 老師

講師 愛知学院大学

菅原 研州 老師

「仏祖正伝菩薩戒を学ぶ・

SGDsに学ぶ」

講師 フリーカメラマン

阿部和美 氏

「寺報の作り方」



阿部和美 氏

令和四年六月二十三日～二十四日

於 ホテルニュー水戸屋

（Zoom併催）

講師 元特派布教師

相原昇明 老師

「管長告諭について・

コロナ禍の布教の心得」

講師

大和証券法人コンサルティング

佐藤泰之 氏

「宗門人が必要なデータを基に」

これからの寺院運営に活かして」



佐藤泰之 氏

講師 元総研所員

深澤亮道 老師

「SNS時代に

気を付けなければならない事」

護持会研修会

令和元年十月二十三日～二十五日

本山研修会 大本山總持寺参拝

令和三年十月二十五日

地方研修会 岩手県正法寺参拝



正法寺山主 盛田正孝 老師

令和四年六月一日

護持会総会



令和四年十月一日

地方研修会 山形県善寶寺参拝



《教化指導員の活動について》



第二教区

光壽院 徒弟 阿部 真龍

教化指導員の活動についてご報告させていただきます。令和四年五月三十一日に登米市石越町の石越にじいろこども園において、また令和四年十月二十九日に第八教区皆傳寺様において演劇公演を行いました。にじいろこども園においては三〜五歳までの子供約七十名、大人約十名。皆傳寺様においては加美町立賀美石小の五年生十七名、保護者約二十名の方に観劇頂きました。感染予防の為にマスクやフェイスガードを着用した上での公演ではありませんが、教化指導員の演者たちのお芝居に、子供たちの元気な笑い声や歓声が湧き起こっておりました。お芝居の登場人物が子供たちに向かって、友達を思いやり、他者の痛みを自分の事として感じられる人になっ



にじいろこども園演劇公演

てほしいと語りかける場面では、耳を傾ける子供たちの眼差しが次第に真剣になっていくのが印象的でした。

令和四年七月二十三日には、宮城県第二教区青年会様の「子供禅の集い盆踊り大会」をお手伝いさせて頂きました。林松院様を会場に開催され、近隣の小学校の児童や保護者を中心に、地域住民の方々約四百名が来場されました。教化指導員は会場内に作られた射的場やヨーヨー釣りで子供たちを遊ばせたり、盆踊りを一緒に踊ったりしながら地域の方々との交流を深めました。特に保護者の方からは、コロナ禍によって子供たちの夏休みの思い出となる体験が減ってしまった中、とても有難い催しだったと感謝の言葉も頂戴しました。人が集まる場を設ける事が困難な時期に、こうした地域の方々とお寺のご縁を結ぶお手伝いをさせて頂き、教化指導員としてとても貴重な機会となりました。

今後も演劇活動をはじめ、出来る事をコツコツと行って参りたいと考えております。



子供禅の集い盆踊り大会



皆傳寺演劇公演

曹洞宗布教師協議会について

曹洞宗宮城県宗務所管内布教師協議会（略称 曹洞宗布教師協議会）は宮城県に僧籍を有する令命二等布教師以上の者のみならず、布教を志す宗侶の会です。現在布教部会、研修部会、教化部会の三部会によって構成され、仏の教えを聞く会や伝道チラシの作成、布教実践講習会の企画運営など、布教法話の実践の他、布教師としての資質向上の為の研修を主な事業として行っております。

布教実践講習会について

近年の開催実績

シリーズ「各宗派のお葬儀を学ぶ」

- 第一回 『真言宗智山派のお葬儀』 平成二十八年
- 第二回 『浄土宗のお葬儀』 平成二十九年
- 第三回 『曹洞宗のお葬儀』 平成三十年
- 第四回 『曹洞宗のお葬儀』 平成三十一年
(令和元年)
- 第五回 『大般若について』 令和二年
- 第六回 『イエナキ時代のお寺の使命』 令和四年



薄井秀夫

昭和四十一年、群馬県生まれ。東北大学文学部卒業（宗教学専攻）
中外日報社、鎌倉新書を経て、平成十九年に株式会社寺院デザインを設立。

著書に

- 『葬祭業界で働く』
- 『10年後のお寺をデザインする』
- 『人の集まるお寺のつくり方』
- 『寺院墓地と永代供養墓をどう運営するか』
- 『どこが違うのお仏壇』など。

曹洞宗関東管区 教化センター 布教協議会

「寺院活動の実践——その方向性で本当にいいのですか？」

曹洞宗 東北管区 布教講習会

「寺院の現状と未来——布教の重要性」

曹洞宗 東北管区 布教講習会

「寺院の現状と未来——布教の重要性」

他 多数

(株式会社寺院デザインのサイトより抜粋)

実践講習会について

日時

令和五年二月二十八日（火）

午後二時半受付

午後二時開会

午後五時半閉会

午後六時半懇親会

場所

秋保 ホテルきよ水

宮城県仙台市太白区

秋保町湯元字平倉一番地

電話

〇二一三九七二五五五

講師

榊寺院デザイン代表取締役 薄井秀夫氏

内容

お寺の今後

檀家さんとのコミュニケーション

葬儀について

永代供養について、寺院経営について等

会費

講義のみ受講 二、八〇〇円

懇親会参加（宿泊代込み）二〇、〇〇〇円

申込み方法

所報に同封の申込用紙をFAXにて送付ください

(二月十八日必着)

掲示伝道ポスターについて




宮城県布教師協議会 教化部部長

都 築 幸 三

先般県内ご寺院様に配布いたしました掲示伝道ポスターは、このコロナ禍において、布教師協議会の主たる活動「仏の教えを聞く会」(オンラインでの開催)の制限や、その他布教活動、研修会等の行事の中止にともない、何か教化広報出来ないかと作成に至

りました。コロナ禍で、お檀家の葬儀・法要等の家族化、寺院法要の簡素化の中で、来寺参詣の方々がこの掲示ポスターの文言一読により、心の安堵と癒しをお請けいただくことを心より願う次第です。正法眼蔵洗面の巻「いまだ洗面せずば、もろもろのつとめ、ともに無礼なり」(手を清めることは、心を浄める事)寺院内でも、手洗いとマスクをつけることの大事さが叫ばれている現在、もう一つの大事も心掛けてほしい。身心一如、仏作仏行。一仏両祖様のおさとしを、その時折々の社会状況を鑑みて、これからも引用し作成してみたいと思います。山内のご掲示を宜しくお願いいたします。



手を清めることは 心を浄める事である

手を洗うことの大切さが、叫ばれている。もう一つの大切さも、心がけたい。【正法眼蔵より】

宮城県布教師協議会

【掲示伝道ポスター】

宮城県布教師協議会と「仏の教えを聞く会」について



宮城県布教師協議会 布教部 理事

大満寺 西山道環

曹洞宗宮城県布教師協議会は昨年より新たに布教部、研修部、教化部の三部会を立ち上げ、今年度は教化部として掲示伝道の企画としてポスターを作成いたしました。研修部として本年二月の摂心会の修行、実践講習会の開催を予定しております。布教部として二年前は中止、一昨年はオンライン開催でございました布教師協議会主催「仏の教えを聞く会」を新たにポスターとチラシをリニューアルして昨年、九月十四日、水曜日に仙台会場、十一月七日、月曜日に石巻会場において対面では三年振りに開催いたしました。久方ぶりの開催も手伝って予想以上に多

くの方に御来場いただきました。仙台会場において玄光庵・伊串泰純師「かんしゃ」鳳仙寺内・坂野敦至師「面目」、石巻会場において大徳寺・橋智法師「幸せは小さな笑顔から」統禅寺・木村孝禅師「正見」という演題でそれぞれ法話実演をいただきました。釈尊からのメッセージをお伝えするという使命のもと熱く実演する布教師のお姿に御来場の皆さまも時にはメモを取りながら真剣に聞法してくださっている様子でした。コロナ禍が続く中ではございますが、当日は法話実演者、司会者にはコロナ抗原検査を実施して開催しております。引き続き感染予防に注意を払いながら、令和五年三月七日、火曜日に古川会場、グラウンド平成において十五時より開催予定となっております。ぜひ足をお運びいただければ有難く存じます。宮城県布教師協議会としても随時、新会員の宗侶を募集しております。

第 **79** 回

令和 **5** 年 **3** 月 **7** 日 (火)

午後 **2** 時 **30** 分 開場 午後 **3** 時 開講 **4** 時 **30** 分 終了

入場無料

会場 **グラウンド平成**
大崎市古川駅前大通5-3-2
TEL.0229-23-6363

仏教語 仙台市 大満寺住職 **西山道環** 師

主法話 石巻市 法山寺住職 **北村暁秀** 師

第二十教区

梅林寺 住職 佐々木憲道
「一日一生」

酒井雄哉 著
発行／朝日新聞出版



第二十一教区

東泉寺 住職 眞山 隆宏
「おかげさまで生きる」

矢作直樹 著
発行／幻冬舎



この本書は、平成20年発行であり、また数年前に新聞報道等でも取り上げられておりましたので、ご存じの方も多くおられると思いますが、書かれている内容は、大変素晴らしい、今でも私の人生の指針になっておりますので、紹介をしたいと思っております。

千日回峰行を二度満行し、そこから話される優しい言葉から感じられる人柄には、憧れを感じるほどであります。辛さ、厳しさ、悲しみ等を超えて、一日一日を大切に生きてきたその人生に感銘し、読ませていただきました。「行」とは何か。私たちの生き方とは、と改めて教わる一冊です。

なお、「続・一日一生」も発刊されており、こちらもおすすめです。

本書は、救急救命医として命と向き合ってきた著者の人生論です。人の生きる指針が五つの章立てで述べられています。著者自身は無宗教と言っておられますが、その内容は宗教にも通じる考え方が多く、「見えないうものに意味がある」と「欲しがるのをやめる」の章は特に仏教の教えに近いと感じられました。目に見えないものや精神性の大切さ、死の世界について、命の瀬戸際を見つめてきたからこそその説得力で、非常にわかりやすい言葉を使い表現しています。

「おかげさまで生きる」当たり前前すぎるとついおざなりになりやすいからこそ折読んで自分に言い聞かせたくなる本です。

「精進料理」

胡麻豆腐の揚げ出し

大本山 總持寺 副典座 長尾 靖樹

【材料】三人前

- ・ 好みの大きさの胡麻豆腐三等分
- ・ 昆布出汁 100 cc
- ・ 薄口醤油 適量
- ・ 酒 適量
- ・ みりん 適量
- ・ 柚子
- ・ 大根おろし
- ・ スプラウト
- ・ 薬味はお好みの物

【作り方】

1 胡麻豆腐に片栗粉を打ちます



2 160度〜170度の油で揚げます



3 鍋に昆布だし 酒 みりんを入れてひと煮立ちさせます

4 器に揚げた胡麻豆腐を入れて汁を入れ薬味を盛ります



冷たく食べる胡麻豆腐を揚げることによって胡麻の甘味、旨味を強く感じることが出来る寒いこの季節に良い一品です

人権擁護推進委員名簿

教区	寺院名	氏名	役職
1	保壽寺 住職	伊藤 孝裕	委員
2	江巖寺 住職	我妻 俊道	委員
3	養松院 住職	榆木 泰教	委員
4	圓滿寺 住職	舘寺 規弘	委員
5	龍島院 住職	丹羽 貴道	委員
6	福應寺 副住職	佐藤 滋元	委員
7	法圓寺 住職	根來 賢晴	委員
8	龍川寺 住職	花山 護法	委員
9	法圓寺 住職	高橋 宣秀	委員
11	法昌寺 住職	山川 瑞芳	委員
12	千照寺 住職	矢口 風寛	委員
13	長谷寺 副住職	永松 泰樹	委員
14	長承寺 住職	田村 啓峻	委員
15	福田寺 住職	橘 勇貴	委員
16	満福寺 住職	菊地 芳道	委員
17	光明寺 副住職	伊藤 大輝	委員
18	圓年寺 住職	山上 明弘	委員
19	海藏寺 住職	石龍 義道	委員

教区	寺院名	氏名	役職
20	梅林寺 住職	佐々木 憲道	委員
21	東泉寺 住職	眞山 隆宏	委員
19	高音寺 住職	岡崎 正利	教区長
10	東溪寺 住職	宮崎 英行	教区長
17	虎溪寺 住職	鈴木 明浩	教区長
21	興禅寺 住職	渡邊 隆悦	教区長
14	大慈寺 住職	高橋 信弘	青年会長
9	三古寺 寺族	岸 恵代子	寺族会長
17	光明寺 住職	伊藤 守弘	宗務所長
2	壽徳寺 住職	熊谷 晴生	副所長
4	東禅寺 住職	三宅 俊乗	教化主事
5	保昌寺 住職	水澤 智孝	庶務主事
4	慶雲院 住職	清水 大伸	梅花主事
19	普門寺 副住職	坂野 太俊	書記
10	興安寺 住職	熊本 淳法	書記
7	善盛寺 住職	根來 浩之	書記
21	活牛寺 住職	菅原 一芳	書記

當寺は虚空藏山大満寺と号し、本尊に虚空蔵菩薩を奉る。現在の本尊は「元禄十二（一七〇〇）年、大仏師造す」と由緒書きが体内に収蔵してある。開基は國分家（伊達家が入府する前の領主）であり、創建当時は真言宗と推測する。宗門の開山は、現仙台市泉区、山の寺洞雲寺の独住第十一世実底祥秀大和尚により、享保元（一四五〇）年三月二十八日に開かれた。更に藩の筆頭奉行（家老）職を務める古内家の菩提寺であり、中興開基を伊達忠宗公（仙台藩伊達家二代藩主）として御位牌を下賜され奉安している。そのため古内重廣（忠宗の守り役から奉行職となり、政宗の従兄弟にあたる）は、中興基本として菩提寺の興隆に大いに貢献された。重廣は伊達政宗・忠宗の二代に仕え、最期は忠宗病没するや追い腹を切り殉死を遂げるほどに仕えた。

忠宗代には重廣の口添えにて、正保元（一六四四）年に「黒印」寺領四〇〇石を拝領し、寺格を御盃返杯格に列せられ、住職の登城には籠を許可とされている。更に

靈光殿と称す総樺造りの位牌堂が建立され、明治中期頃まで存在した。明治まで檀家は古内家のみであり、当家は寛文事件（伊達騒動）の生き残り、古内志摩義如（評定衆職）の自家筋の家であり、一六三九年より、岩沼を領地（一時田村氏が領主になる）として、一万五千石以上の領地を有し、明治以降も存続し岩沼の行政に深く関与している。前出の「靈光殿」に祀る歴代当主の位牌は全て雲袖型位牌・高さ二尺ほど・豪華な彫物なされる。また境内の西の丘の頂上に、重廣と共に殉死の古内家家臣三名（木名瀬・中村・鈴木氏）の墓石があるが、病没された忠宗の為に薬師如来石仏を奉安し、それをお守りする様に建立されている。その墓所は歴史の重みと崇高な意思を感じられる所で探訪者も多い。現在往時を偲ぶ堂宇は無いが、忠宗公や古内家の御位・古内家より奉納された「重廣公武者木像」が在るのみとなった。その木像は軍配を握り、今も寺の行く末を見守ってくださっている様である。



第二十一教区

大満寺沿革

虚空藏山大満寺住職 佐藤 透光

表紙写真説明

新命住職

第四教区 永禪寺 田村 晃義 師 R 4・9・1

第五教区 龍泉院 佐藤 正人 師 R 4・9・1

第五教区 関泉寺 田村 芳規 師 R 4・9・1

第一教区 善徳寺 中澤 慧乘 師 R 4・9・1

結制修行

(一層の弁道精進を祈ります)

第一教区 (令和4 夏・後・初会) 法幢師 神作 紹道 師

第二十一教区 (令和4 夏・後・初会) 法幢師 佐藤 肝太 師

第一教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 新 昭人 師

第二教区 (令和4 冬・前・再会) 法幢師 計良 弘信 師

第十四教区 大慈寺東堂 高橋 信孝 師 78歳

第十一教区 (令和4 冬・前・再会) 法幢師 大枝 道友 師

第十四教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 田村 啓峻 師

第十一教区 (令和4 冬・前・再会) 法幢師 大枝 道友 師

第十四教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 田村 啓峻 師

第二十一教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 大友 孝彦 師

第八教区 (令和4 冬・中・初会) 法幢師 田崎 元章 師

第十七教区 (令和4 冬・中・初会) 法幢師 氏家 栄宏 師

第十四教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 田村 隆翔 師

第二十一教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 大友 孝彦 師

第八教区 (令和4 冬・中・初会) 法幢師 田崎 元章 師

第十七教区 (令和4 冬・中・初会) 法幢師 氏家 栄宏 師

第十四教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 田村 隆翔 師

第二十一教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 大友 孝彦 師

第八教区 (令和4 冬・中・初会) 法幢師 田崎 元章 師

第十四教区 (令和4 冬・前・初会) 法幢師 田村 隆翔 師

遷化

(謹んで弔意を表します)

第一教区 善徳寺住職 中澤 金乗 師 75歳

第十教区 陽山寺東堂 吉田 瑞宗 師 88歳

第十四教区 大慈寺東堂 高橋 信孝 師 78歳

第十二教区 観音寺東堂 後藤 三彦 師 96歳

第十七教区 長興寺東堂 佐藤 光基 師 96歳

第十四教区 保昌寺東堂 沼田 芳孝 師 87歳

第十九教区 常因寺住職 岩淵 義文 師 69歳

第十二教区 長泉院寺族 泉 敬子 様 101歳

第一教区 宗禪寺寺族 岩井 幸 様 100歳

第二十一教区 満興寺寺族 時 仁子 様 99歳

第十教区 陽山寺寺族 吉田 徳恵 様 89歳

第十三教区 金蔵寺寺族 渡邊 静枝 様 67歳

第二十一教区 弥勒寺寺族 石川よう子 様 85歳

第二十教区 実相寺寺族 菅原 恵子 様 92歳

第十二教区 観音寺東堂 後藤 三彦 師 96歳

第十七教区 長興寺東堂 佐藤 光基 師 96歳

逝去

(謹んで弔意を表します)

第十二教区 長泉院寺族 泉 敬子 様 101歳

第一教区 宗禪寺寺族 岩井 幸 様 100歳

第二十一教区 満興寺寺族 時 仁子 様 99歳

第十教区 陽山寺寺族 吉田 徳恵 様 89歳

第十三教区 金蔵寺寺族 渡邊 静枝 様 67歳

第二十一教区 弥勒寺寺族 石川よう子 様 85歳

第二十教区 実相寺寺族 菅原 恵子 様 92歳

編集後記

「ブラボー」という長友選手の雄叫びに象徴されたワールドカップカタル大会。優勝経験のあるドイツやスペインと同じ、いわゆる「死のグループ」から一位突破は、暗いニュースばかりで鬱屈した日本国民の気持ちを一気に晴れやかなものにしてくれました。それはスポーツの持つ力をあらためて見せつけられた瞬間でもあり、日本中に感動と勇気を与えてくれたイレブンに心からありがとう、お疲れ様でしたと申し上げたい気分です。とは言え、依然として世界情勢は極めて不安定な状況にあります。新型コロナウイルスの感染拡大は未だ終息の糸口が見えず、またロシアによるウクライナへの軍事侵攻、日々報じられるウクライナ国民の悲惨な姿を見ると胸が締め付けられる思いがします。一日も早く戦争が終結し、ウクライナの人々に平穏な生活が戻ることを祈るばかりです。

M記

宗務所長名の檀信徒用感謝状 弔辞を準備しております。 お問い合わせください。